

「団結於遠方 ——革命世紀和 中国作家的旅行書写」

【講演者】

王璞

ブランダイス大学
中国文学と文化研究准教授

【司会】王欽（東京大学）

【日時】

2021年1月9日（土）
10:00~12:30

【開催方法】

Zoom ウェビナー（事前登録制）



出席を希望される方は、QRコードか下記のリンクから事前にご登録ください。登録した方にZoomリンクをお送りします。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_HZn1yL_vSXS4Mej4pY47lw

※関連テキストが必要な方は、下記までご連絡ください。

鈴木将久：msuzuki@l.u-tokyo.ac.jp

【言語】 中国語

現在、文学研究はどのような問題を論じ、いかなる方法を切り開いているのだろうか。2021年のはじまりにあたり、中国文学研究において新たな探究をしている三人の方を招いて講演していただき、文学研究の現在地と今後のあり方を展望したい。

第一回では中国作家の旅行記を取りあげる。講演では、旅行記の世界文学における特殊な位置を確認した上で、革命の世紀の中国作家の旅行記を通じて、社会の流動性と文化の想像力に関する異なった路線を明らかにする。旅行は自己の解放であり、他者への友愛であり、ユートピアの探究である。ユートピアとは、「異なる場所」であり、また「どこにもない場所 U-topia」であり、さらに「すばらしい場所 Eutopia」でもある。

ここから、中国20世紀文学がいかに「異なった人々」、異なった世界を求め、ユートピアの場所を生み出し、議論を展開し、さらに「遠方において団結する」文化の政治を生み出したかを分析する。

【主催】

・東京大学東アジア藝文書院（EAA）